

令和元年度 活動方針

共通テーマ「主体的・創造的な教育を求めて」

1 活動方針

日本国憲法と教育基本法に精神に立脚し、民間教育団体として、研究の自由を堅持し、教員の資質・指導力の向上を図り、本県教育課題の解決に寄与する。

- (1) 子どもたちの成長と幸福を希求し、主体的・創造的な教育を目指した研究を推進する。
- (2) 全県的な組織拡充を目指し、一層の研究推進とその成果の広報に努める。

2 重点目標

- (1) 現場教員の願いをかなえる研究組織の確立を図る。
- (2) 全県を網羅する研究組織の拡大を図る。
- (3) 児童・生徒の確かな学力定着及び向上のために研究活動の充実を図る。
- (4) 新学習指導要領の完全実施に向けた取り組みを進める。

3 実践への方策

- (1) 各支部の特性を生かした創造的・自主的な研究活動を推進する。
- (2) 各支部単位の研究体制の確立に努める。本年度から、各支部の研究大会を輪番で県大会と兼ねて実施する。今年度は高知支部の研究大会が県大会を兼ねる。
- (3) 各支部や専門部会の研究活動を交流し合うとともに、全国的な動向を研修する機会を設ける。
- (4) 部会の開催を全県的に行き、地域に根差した研究の充実を図るとともに、若手教員の育成に努める。そのために、高知県教育委員会をはじめとする関係機関との連携を図る。
- (5) ホームページ等による効果的な方法で、本会の取り組みや、研究の成果を発信する。
- (6) 本会の趣旨に賛同する者の加入を積極的に図るとともに、研究の拡充により教員の資質・指導力の向上に努める。
 - ① 本年度の会員目標数を1,600名以上とし、各支部及び支部、個々の会員等が会員拡大に努める。
 - ・新規採用教員をはじめとする若年会員の獲得
 - ・研究大会、研修会での専門部役員による勧誘
 - ・職場での会員による未加入者への勧誘
 - ② 関連団体への組織的な働きかけの継続
 - ・土佐研ホームページによる広報
 - ・校長会、教頭会等での管理職への勧誘
 - ・県教委、地教委等と連携しての勧誘
- (7) 会員増による会費収入の増額に努めるとともに、関係機関からの補助金及び研究助成金の交付を働きかける。